

株式会社 大分銀行

2023年 経営説明会

取締役頭取 後藤 富一郎

2023年 経営説明会

目次

I. 役員紹介

- 1. 役員紹介 4

II. 決算概要

- 1. 2023年3月期 決算概要 6
- 2. 2024年3月期 業績予想 8

III. 大分県の状況

- 1. 景気動向 10
- 2. 足元の景気動向 11

IV. 大分銀行の取り組み

- 1. 長期ビジョンと中期経営計画2021 13
- 2. 長期ビジョン実現に向けた取り組みステップ 14
- 3. 事業性融資強化の取り組み 15
- 4. 「スタートアップ・第二創業支援」について 16
- 5. 地域ビジョン 17
- 6. 預り資産ビジネスに関する取り組み 18
- 7. SDGsソリューション 19
- 8. 脱炭素に向けた取り組み 20
- 9. 人財力強化・女性活躍支援 21
- 10. 長期ビジョンの実現に向けたDX 22

I. 役員紹介

取締役

- (代表取締役) 取締役頭取 : 後藤 富一郎
- (代表取締役) 専務取締役 : 高橋 靖英
- 常務取締役 : 岡松 伸彦
- 常務取締役 : 下ノ村 宏昭
- 常務取締役 : 佐藤 泰則 (昇任)
- 社外取締役 : 和田 久継 (新任)

取締役 (監査等委員)

- 取締役 (監査等委員) : 相良 雅幸
- 取締役 (監査等委員) : 平川 浩行
- 社外取締役 (監査等委員) : 河野 光雄
- 社外取締役 (監査等委員) : 大呂 紗智子
- 社外取締役 (監査等委員) : 山本 章子 (新任)

執行役員

- 常務執行役員 (本店営業部長兼東支店長) : 池田 雄 (昇任)
- 常務執行役員 (別府支店長兼鶴見支店長) : 永松 秀基
- 執行役員 (中津支店長兼福沢通支店長
兼鶴居支店長兼中津東支店長) : 植木 克彦
- 執行役員 (総合企画部長) : 浜田 法男
- 執行役員 (営業戦略部長) : 仲摩 典幸
- 執行役員 (融資部長) : 渡辺 祐司 (昇任)
- 執行役員 (地域創造部長) : 高橋 秀樹
- 執行役員 (市場金融部長) : 三浦 正敦 (昇任)

II. 決算概要

- (注1) 従来、「その他経常収益」に計上しておりました団体信用生命保険等の受取った配当金について、当年度より「役務取引等費用」に計上しており、前年度の計数について組替えを行っております。
- (注2) 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化等により変動する可能性があることにご留意ください。

< 決算サマリー（単体） >

	2023年3月期	増減
経常収益 (一般企業の売上高)	620億円	↑ 前期比 +171億円
経常費用 (▲)	555億円	↑ 前期比 +167億円
経常利益	65億円	↑ 前期比 +4億円
当期純利益	51億円	↑ 前期比 +5億円

決算のポイント

● 8期ぶりの増収増益

- 本業部分の収益指標であるコア業務純益はコア業務粗利益の増加により増益。(↑)
- 与信費用は23億円のマイナス。(↑)
 - ・ 与信費用は引当対象債権の減少等により、大幅に減少。
- 有価証券関係損益は134億円のマイナス計上。(↓)
 - ・ 債券ポートフォリオのリバランスによる国債等債券売却損の増加により減少。
- 特別損益は大銀ビジネスサービス(株)の吸収合併に伴う特別利益(抱合せ株式消滅差益)の計上により増加。(↑)

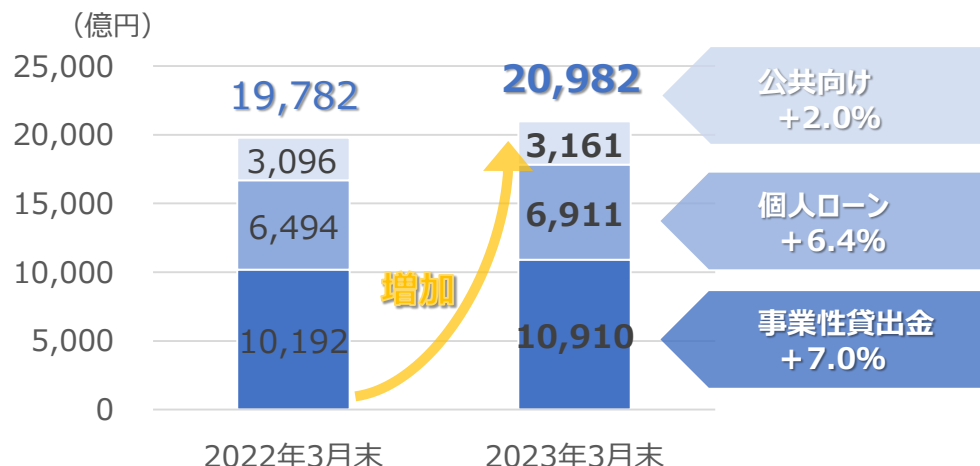
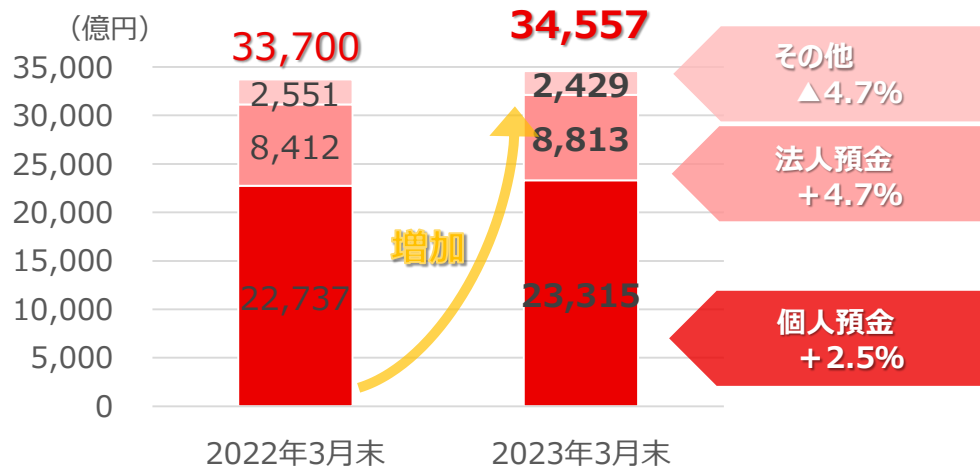
【コア業務純益ベース】

→ 銀行の本業ベースの損益状況

	2023年3月期	増減
コア業務粗利益	430億円	↑ 前期比 +54億円
経費 (▲) (除く臨時費用処理分)	258億円	↑ 前期比 ±0億円
コア業務純益 銀行の本業収益指標	172億円	↑ 前期比 +54億円
与信費用 (▲)	▲23億円	↓ 前期比 ▲31億円
有価証券関係損益	▲134億円	↓ 前期比 ▲83億円
経常利益	65億円	↑ 前期比 +4億円
当期純利益	51億円	↑ 前期比 +5億円

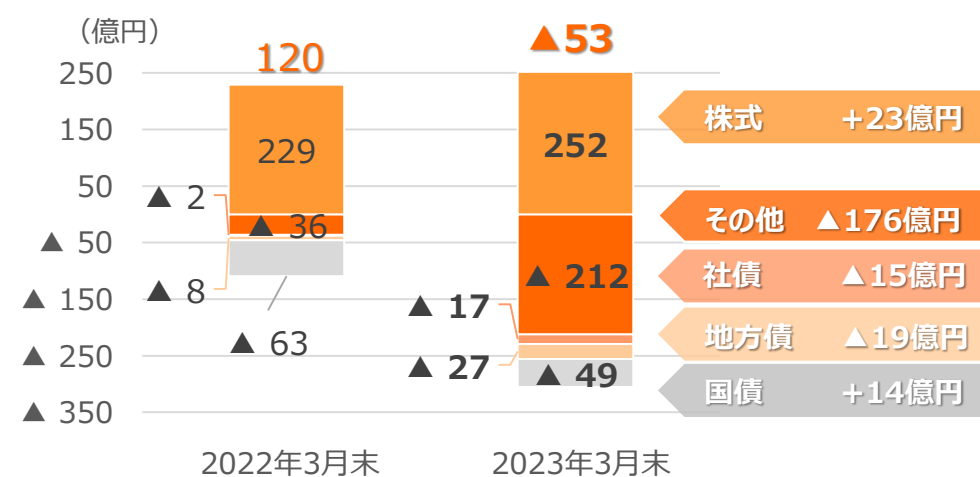
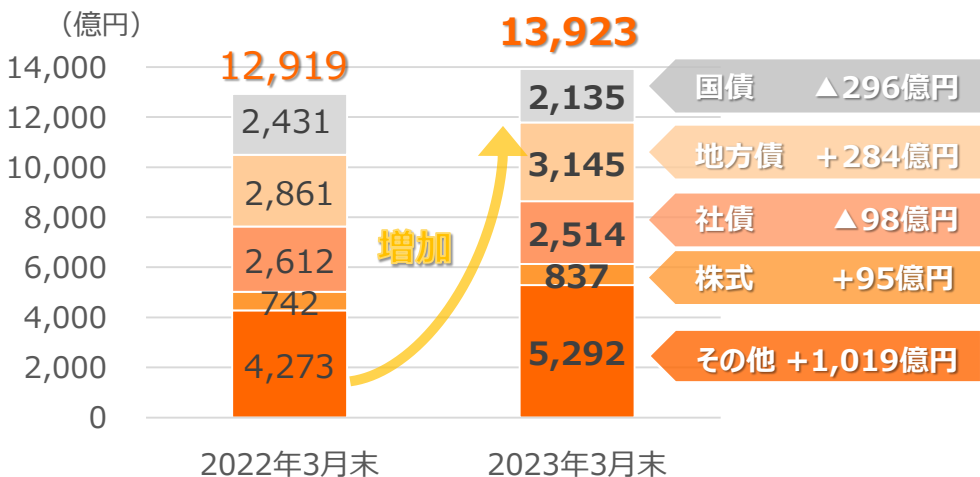
● 総預金 (期末残高) **3兆4,557億円** 
前期末比 +2.5%

● 貸出金 (期末残高) **2兆982億円** 
前期末比 +6.0%



● 有価証券残高 **1兆3,923億円** 
前期末比 +7.8%

● 有価証券評価損益 **▲53億円** 



< 業績予想 (単体) >

	2024年3月期	増減
経常収益 (一般企業の売上高)	521億円	前期比 ▲99億円
経常費用 (▲)	453億円	前期比 ▲102億円
経常利益	68億円	前期比 +3億円
当期純利益	45億円	前期比 ▲6億円

決算のポイント

● 経常利益段階で減収増益予想

- 経常収益は、前期の有価証券利息配当金等の計上額が大幅に膨らんでいたことから減収となる見込み。(↓)
- 与信費用は金融・経済情勢が不透明であることに加えて、お取引先の資金ニーズに対して積極的かつ継続的な対応をしていく方針であり増加する見込み。(↓)
- 有価証券関係損益は国債等債券損益(5勘定戻)の改善によりプラスに転じる見込み。(↑)
- 当期純利益は経常利益が増加するものの、前期に特別利益(抱合せ株式消滅差益)を計上した反動等により減益となる見込み。(↓)

【コア業務純益ベース】

→ 銀行の本業ベースの損益状況


	2024年3月期	増減
コア業務粗利益	342億円	前期比 ▲88億円
経費 (▲) (除く臨時費用処理分)	273億円	前期比 +15億円
コア業務純益 銀行の本業収益指標	69億円	前期比 ▲103億円
与信費用 (▲)	13億円	前期比 +36億円
有価証券関係損益	9億円	前期比 +143億円
経常利益	68億円	前期比 +3億円
当期純利益	45億円	前期比 ▲6億円

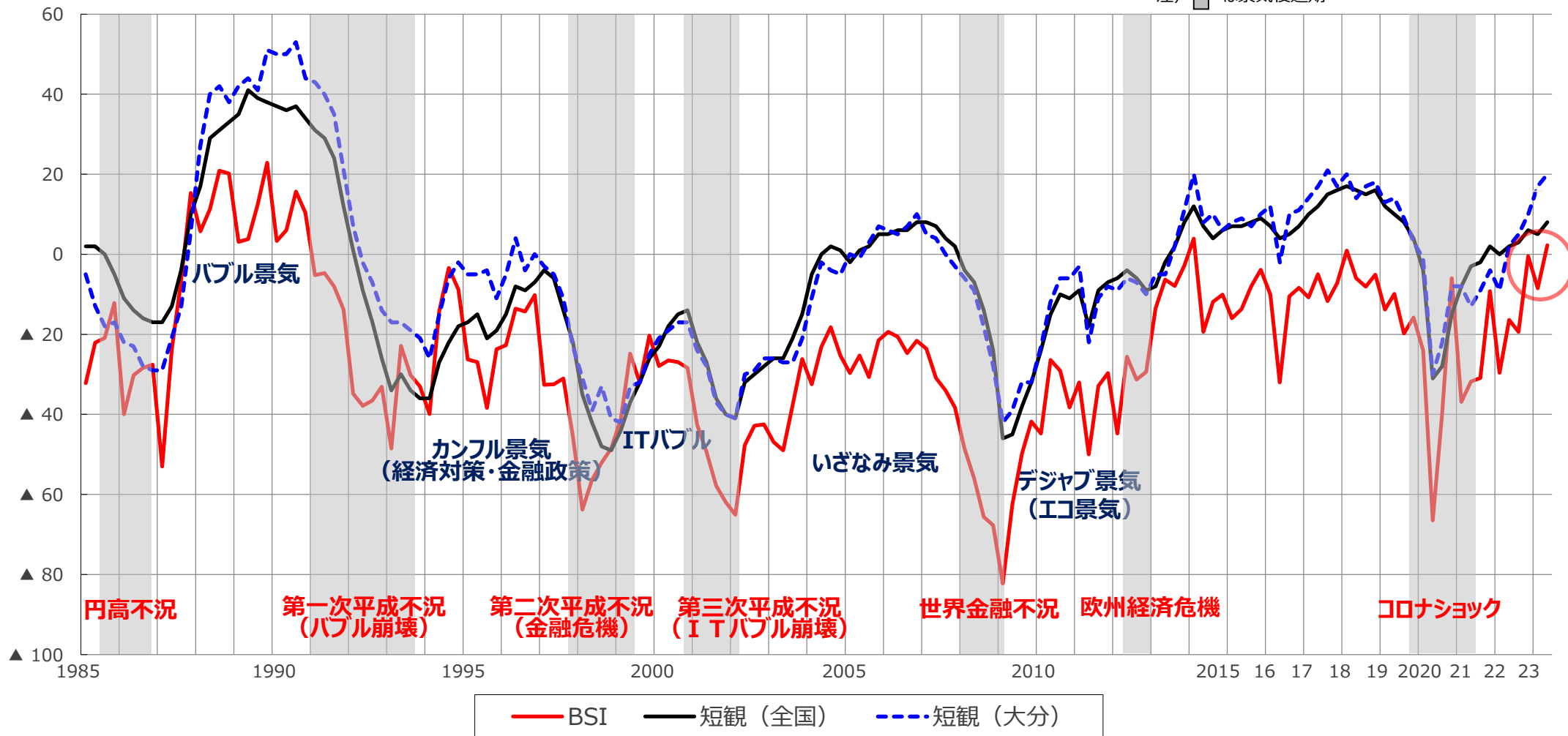
Ⅲ. 大分県内の動向

▶ 直近BSI※は2.3㊦（全産業：2023年1Q比+10.8㊦）へ改善。製造業と卸・小売業以外はプラスに反転。特に不動産業では33.3㊦（同+58.3㊦）と大幅に改善した。なお、2023年3Q予想でも3.4㊦（全産業：2023年2Q比+1.1㊦）へ改善する見通し。

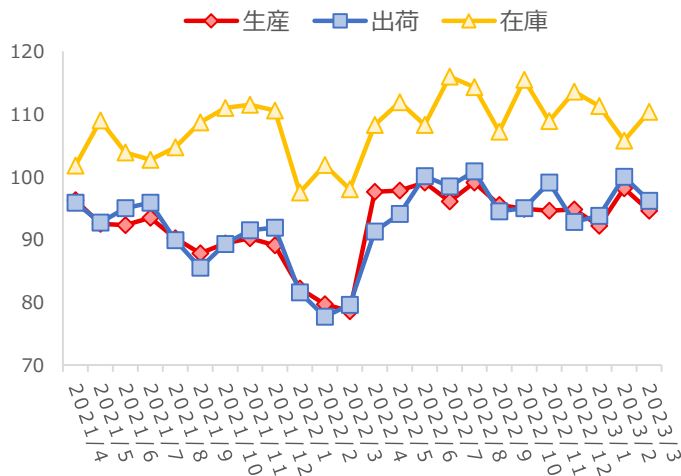
※ BSI：Business Survey Indexの略。景況判断指数のひとつで、企業に対し自社企業の業績や景況、従業員数などの判断・見通しについてアンケートを実施し、「強気（上昇、増加、改善）」と回答した企業の構成比から「弱気（下降、減少、悪化）」と回答した企業の構成比を差し引いて算出

◆DKK景況意識調査（BSI、大分、全産業）、日銀短観（大分、全国）の推移

注)  は景気後退期

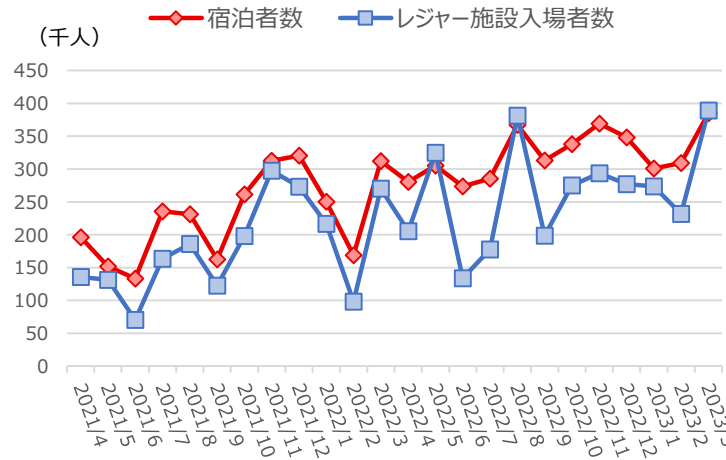


◆ 鉱工業指数 (2015年=100)



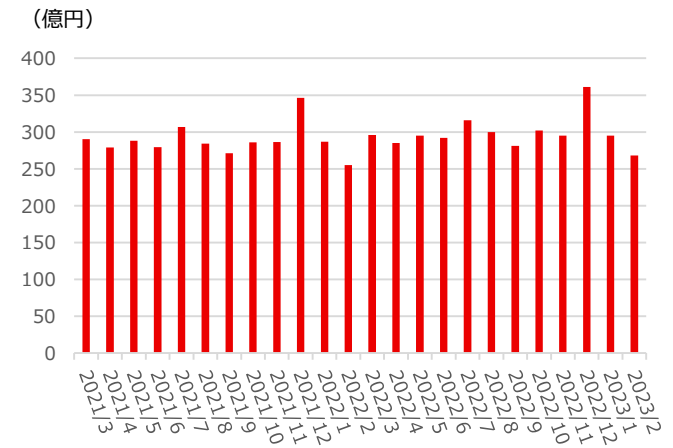
資料) 大分県鉱工業指数月報 2023年分 調べ

◆ 観光



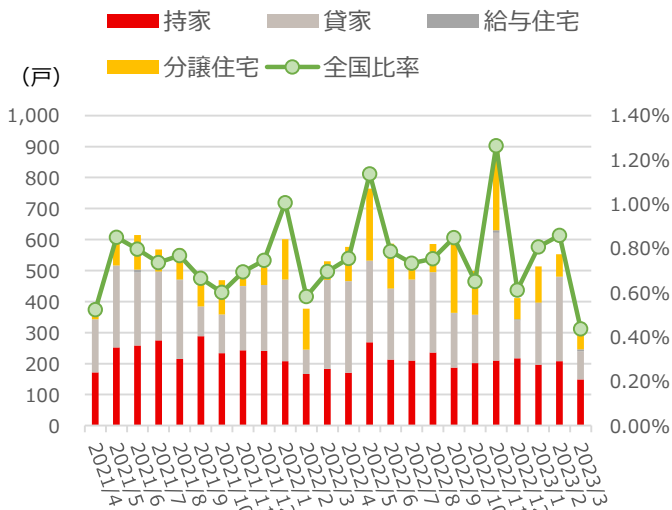
資料) 大分県観光統計調査及び大銀経済経営研究所調査 調べ

◆ 小売販売額 (大分県)



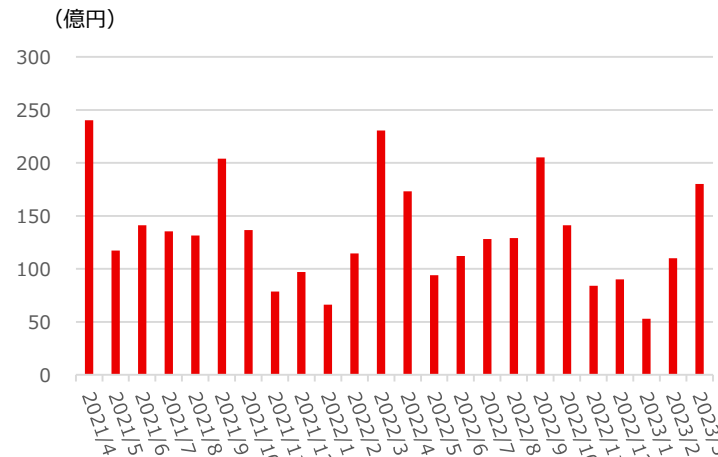
資料) 経済産業省 商業動態統計調査 調べ
※ 販売額は百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンター、家電大型専門店の合計。2023年3月以降は県別の調査を終了。

◆ 住宅着工



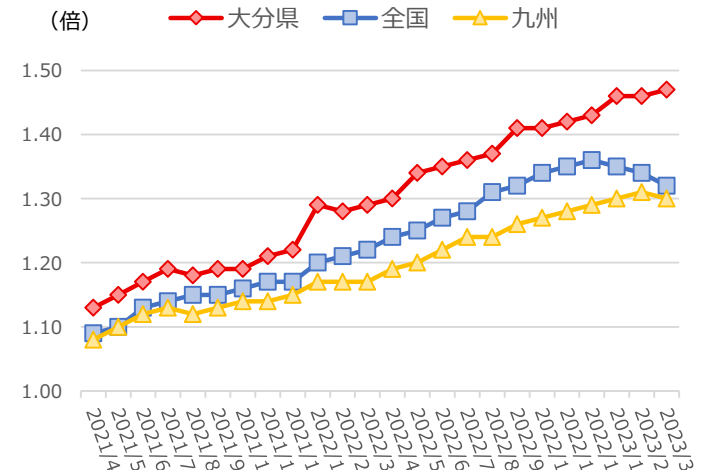
資料) 国土交通省 住宅着工統計 調べ

◆ 公共工事 (保証請負額)



資料) 西日本建設業保証(株) 公共工事動向 調べ

◆ 雇用 (有効求人倍率)

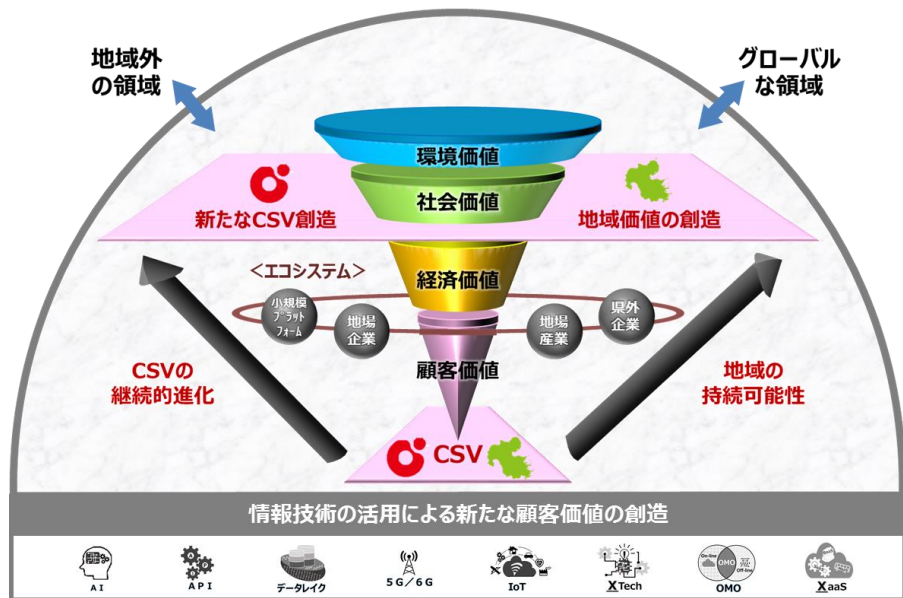


資料) 大分労働局 労働市場月報 調べ

IV. 大分銀行の取り組み

**長期
ビジョン**

地域の持続可能性を高める価値創造カンパニー



▶「4つの価値」の創造を通じて、**地域に新たな価値や市場を生み出す、「地域の持続可能性」を高める存在**となる。

▶金融 + 非金融を組み合わせたエコシステムの構築を図り、**新たなビジネスモデルの構築を実現**している。

- 環境価値** : 地域社会の一員として、気候変動等、環境を含めた地域の魅力向上に努める
- 社会価値** : 地域課題の解決に取組み、健全な社会形成に貢献する
- 経済価値** : 多面的な事業支援を通じ、地域の経済規模を維持する
- 顧客価値** : お客さまに寄り添ったサービスで、事業や生活を豊かにする

**基本
テーマ**

未来を見据えた変革への挑戦

～地域の未来を創る新たなサービス・価値の創造を目指して～

**基本
戦略**

地域特性を踏まえた金融・非金融サービスの提供

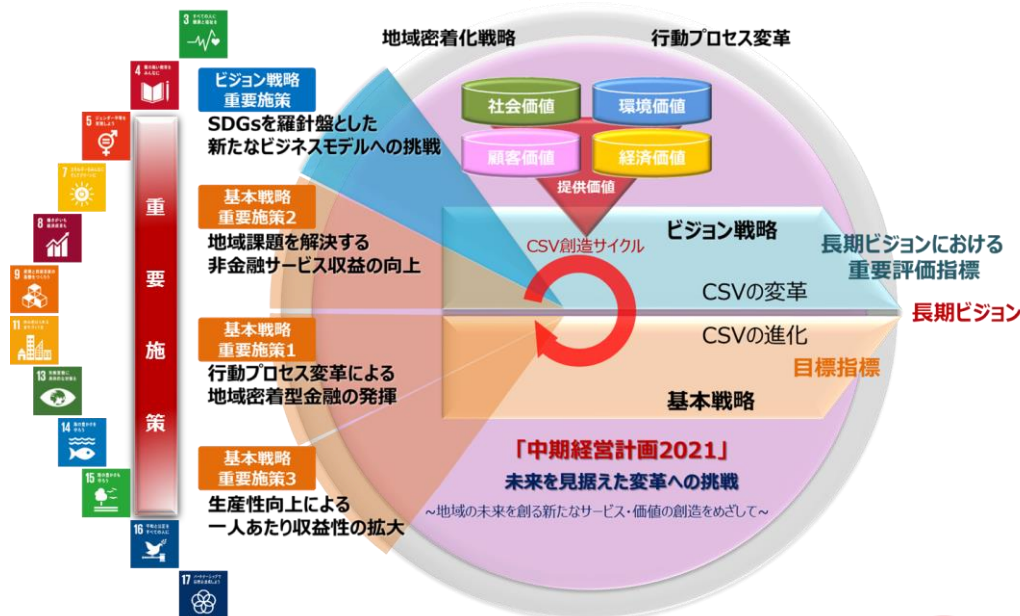
- ▶ 行動プロセス変革による地域密着型金融の発揮
- ▶ 地域課題を解決する非金融サービス収益の向上
- ▶ 生産性向上による一人あたり収益性の拡大

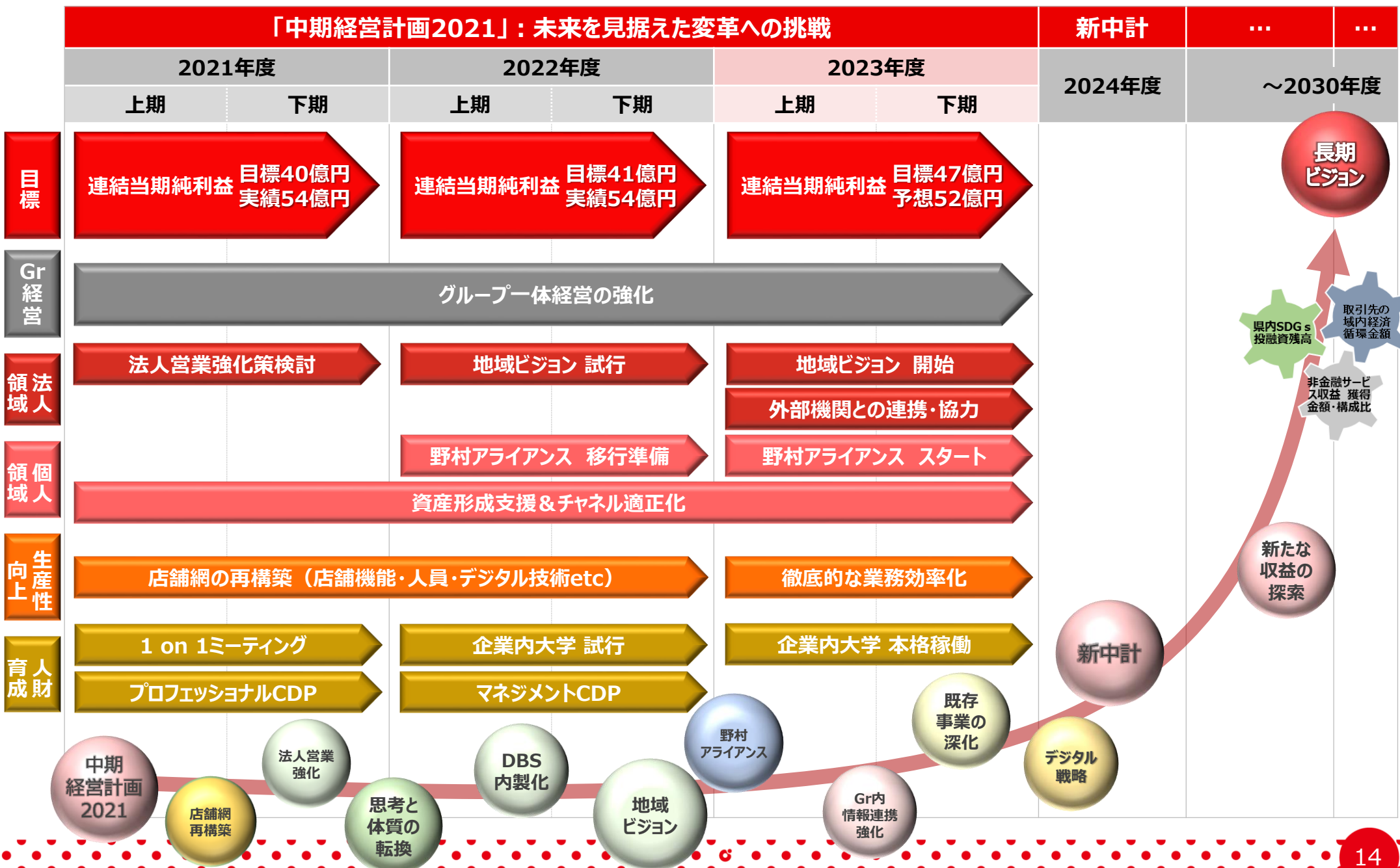
**ビジョン
戦略**

SDGsを羅針盤とした新たなビジネスモデルへの挑戦


- ▶ 金融の枠組みを超えたビジネスモデルの構築
- ▶ 「専門人財の育成」と「個々の能力を発揮できる組織の構築」

戦略展開イメージ





- ▶ 大分銀行グループはお客様のライフステージに応じたあらゆる経営ニーズに的確に対応し、専門スタッフによる企業経営に関する様々なソリューションを提供しています。

お客様のライフステージ	創業・開業	成長・成熟	経営改善	事業再生	整理・事業承継
サポートイメージ	▶ 創業等にあたっての各種相談受付、資金調達等をサポート	▶ ビジネスマッチングや海外進出、M&A等成長をサポート	▶ 事業計画の策定から計画実行までを総合的にサポート	▶ 事業再生や業種転換を外部機関・公的機関と連携しサポート	▶ 自社株評価や適切なスキームの提案等、問題解決をサポート
サポート内容	資金調達（融資等）	資金調達（融資等） ビジネスマッチング	経営改善支援	事業再生支援	事業承継
	創業サポート	海外サポート・M&A	販路拡大・IT化支援	DES・DDS・DIPファイナンス	事業再生支援
	公的助成金	公的助成金・事業の多角化	必要に応じた融資支援	業種転換	M&A・廃業支援
	クラウドファンディング・人材紹介事業			コンサルティング	
サポート体制	 大分銀行グループ 本部 営業店 関連会社			+	外部専門機関等

- ▶ お客様のライフステージに応じた的確な資金対応を実現するため、営業店における貸出権限の範囲の拡大やファンドの新設等により、推進力を強化した結果、**2023年3月期事業性貸出金は増減率4.0%の1兆627億円（平残）**で着地。

【ファンド例】

名称	サステナチャレンジファンド	パートナーファンド
金額	100億円	100億円
取扱期間	2022年5月2日～2023年9月30日	2022年5月2日～2023年9月30日
目的	SDGs・IT/DX・補助金受給により事業再構築や企業の持続可能性(サステナビリティ)向上にチャレンジするお客さまをご支援する	新型コロナウイルス感染症の長期化や原材料価格高騰等の環境の変化により影響を受けているお客さまに対して、円滑な資金供給や返済負担の軽減を通じ、本業へ注力できる経営体制の構築をご支援する

ビジネスコンテスト「だいぎんニュービジネスプランター」の開催

- ▶ 大分県で創業・新事業の展開など新たな取り組みに挑戦する個人および法人の皆さまからビジネスアイデアを2022年11月より募集し、その事業化や成長を支援する「だいぎんニュービジネスプランター」を開催しました。
- ▶ ビジネスアイデアのなかから優れたものについて、その実現のため、継続的な伴走支援を行ってまいります。



コンテストの特徴

特徴1 法人・個人を問わず
幅広く募集

特徴2 表彰先を中心に、
事業化・成長に向けた支援を実施

特徴3 オール大分で支援※を実施
(産官学金 連携)

※オール大分で
スタートアップの成長を支援



支援機関



民間企業
(地域を牽引する企業)



学術機関
(大学・高専)



大分銀行
グループ



OITA BANK

地域経済を牽引する大分県の企業「41社」
が協賛企業として参画

グランプリ枠

最優秀賞	株式会社Buzcycle 毛利 謙太 『ミールワーム(昆虫)を活用した、持続可能な循環型社会の実現』
優秀賞	株式会社Be Flat 左右田 大介 ふるさと納税制度を活用した地域デジタルポイントアプリケーション「LOCOPO」の運用
特別賞	株式会社Growbuddy 伊藤 愛留 新しい言語学習のカタチGrowbuddy Play『メタバース留学』
	田島山業株式会社 田島 大輔 脱炭素×森の未来づくり～地場の企業と森で生まれる新たな経済環境～

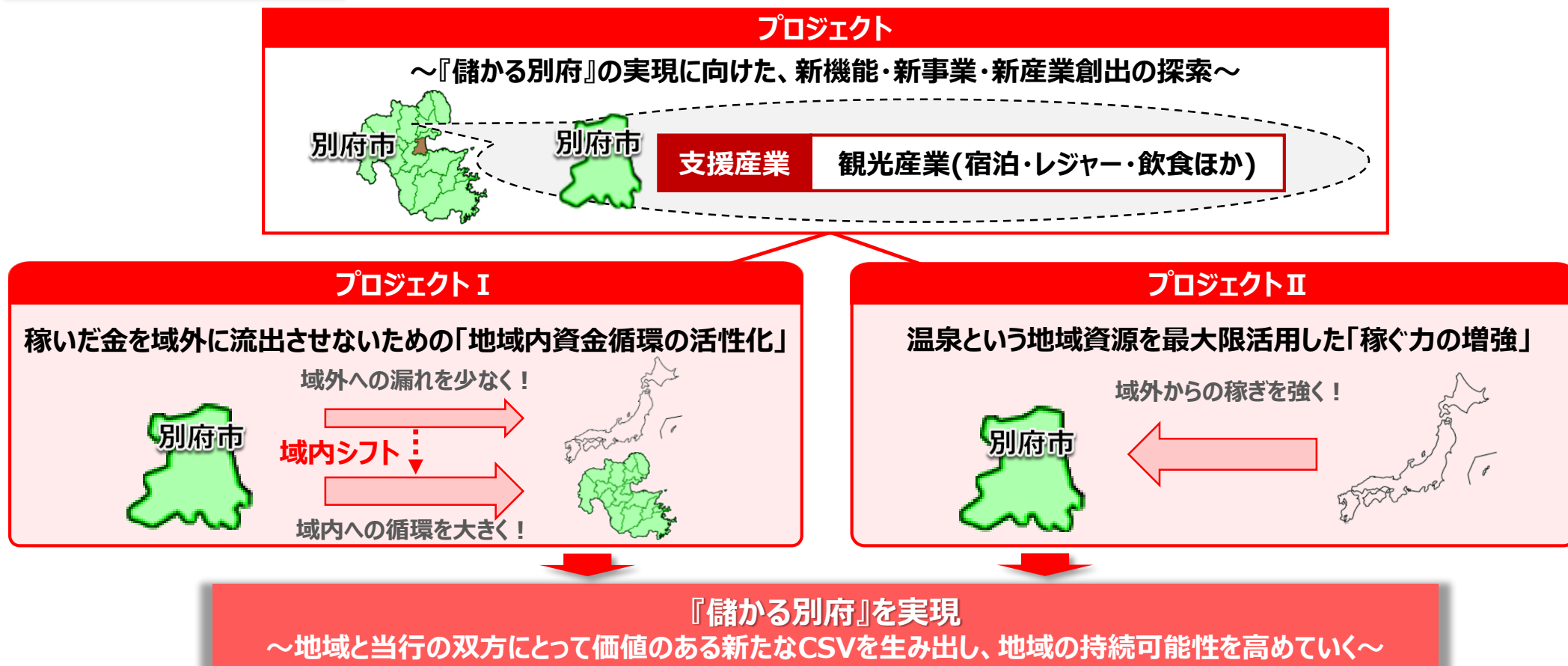
アイデア枠

アイデア賞	parastep 副田 優海 左右異なるサイズの靴が購入できるECサイト「parastep」
特別賞	アップリカパニー株式会社 中原 ひとみ 土のリサイクルで地球をまもる持続可能な「カーデニングの土」の 新循環プラットフォームupsoil
	株式会社barca 末光 伊美季 外国人医療アクセスプラットフォーム「Migii」

地域ビジョンの取り組み

- ▶ 地域ビジョンとは、地域活性化や地域産業振興など地域の課題解決・地域の持続的な成長に向けて、**大分銀行と各自治体・団体・企業等が連携してその実現を目指す取り組み**です。
- ▶ 地域のお客さまが思い描くゴール（ありたい姿）の実現に向け、地域において影響力が高い産業等への取り組みを強化していきます。

別府市における取り組み



「野村證券との業務提携」

- ▶ 大分銀行の各チャネル（本支店等）の預り資産業務は、野村證券の金融商品仲介業務に一本化しました。

当行と野村證券それぞれの強みを融合

大分銀行

- 長年に亘り蓄積された地域情報
- 大分県内随一の地域密着ネットワークと強固な顧客基盤



野村證券

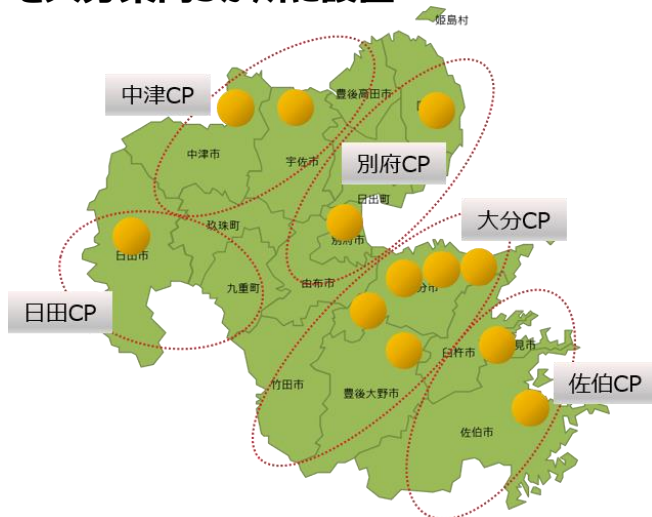
- 高度な専門性と人材（育成）力
- 豊富な商品・サービス供給力と営業活動を支えるミドルバック体制

地域における総合金融サービス機能を高度化

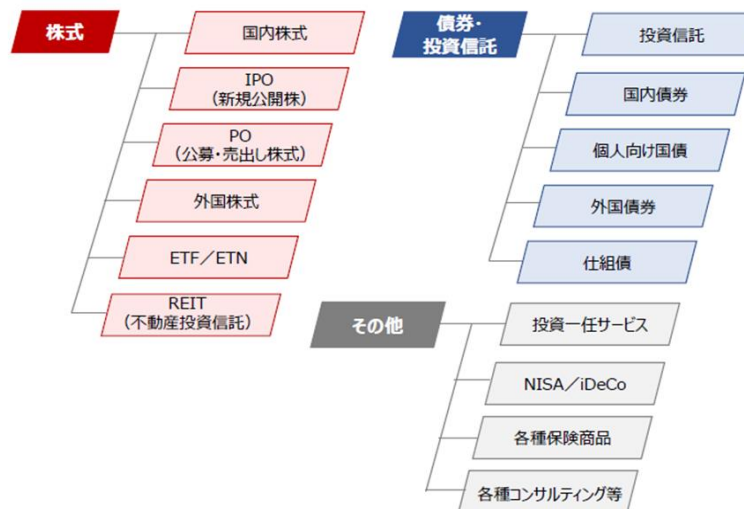
OITA BANK
×
NOMURA
Alliance



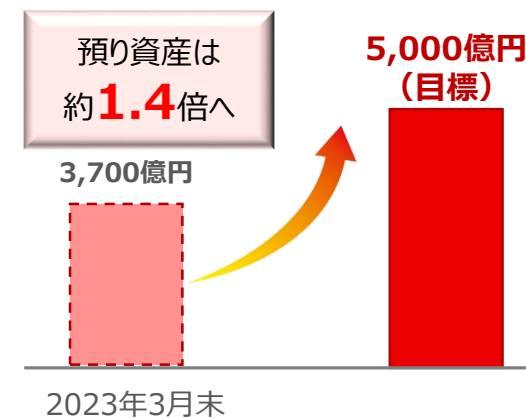
■ 預り資産専門チャネル（コンサルティングプラザ）を大分県内5か所に設置



■ 商品ラインアップを大幅に拡充



■ 預り資産残高の拡大



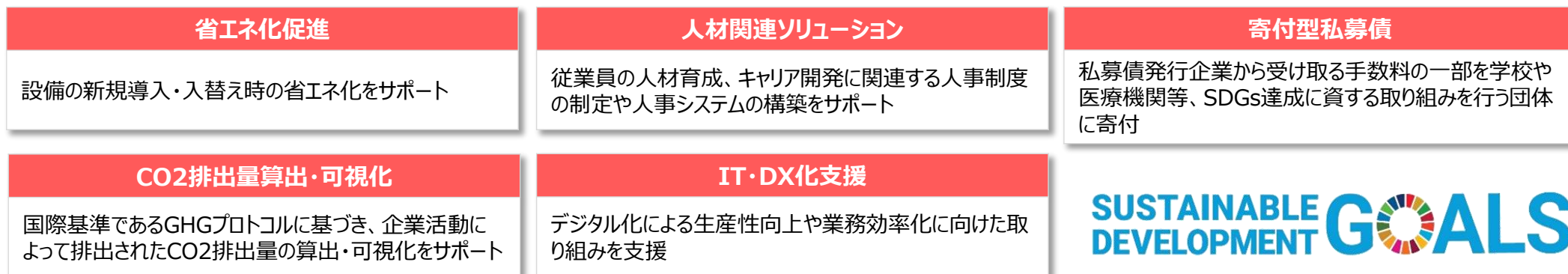
お客さまへのSDGs支援

- ▶ SDGsはビジネスにおいても重要性が増しており、SDGsを経営に取り入れる企業が増えています。当行は、地域のSDGs経営を後押しするために様々な支援を行っております。

大分銀行のSDGsソリューション体系図



SDGsに取り組む上でのソリューションメニュー例



サステナビリティをコンセプトにした新店舗の開設

- ▶ 2022年11月7日に日岡支店は東大分地区の中核店舗として新築移転オープン。サステナビリティをコンセプトとした新店舗において、持続可能な地域づくりの実現を目指しています。

コンセプト

「カーボンフリー店舗」

- 自家消費を目的とした太陽光発電システム
- 不足電力は再生可能エネルギーの使用
- 大分県産の木材を100%使用した内装木質化

【外観】



【太陽光発電システム】



【内装木質化】



CO2排出量削減およびSDGs投融資目標の策定

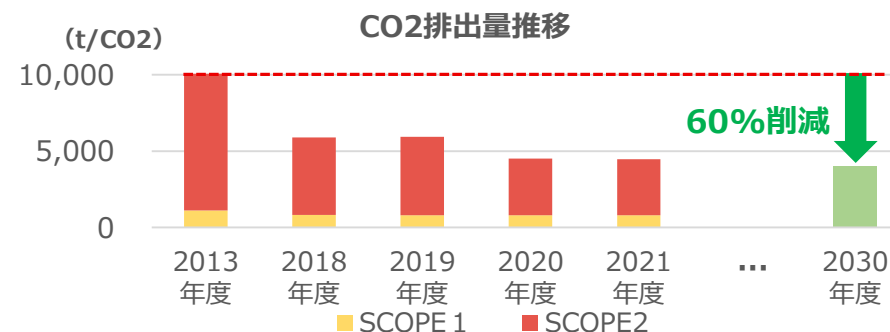
- ▶ 気候変動をはじめとする環境課題や社会課題の解決に資する以下目標を定め、達成に向けた取り組みを行っていきます。

● CO2排出量削減目標

2030年度までに

2013年度比 **60%削減**

※SCOPE 1・2を対象とします。



● SDGs投融資目標

2023年度～2030年度

実行額累計 **5,000億円**

(うち環境関連 2,000億円)

当行では、SDGsの趣旨等を踏まえ、地域経済を支える金融機関として行う環境・社会課題の解決に資する投融資を「SDGs投融資」としています。

多様な人財の自律的成長の支援

- ▶ 中期経営計画2021に掲げる『価値創造カンパニーを実現する人財の輩出』に向け、多様な人財の自律的成長の支援に取り組んでいます。

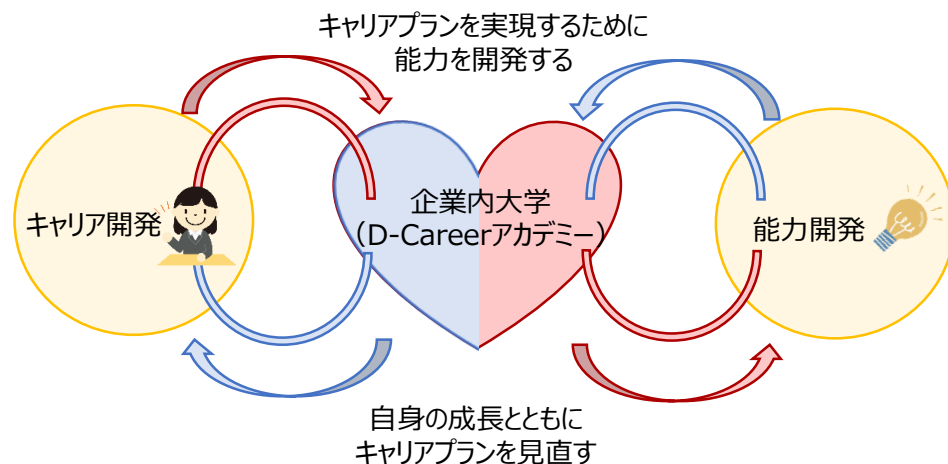
タレントマネジメントシステム

● タレントマネジメントシステム D-careerBOX (Dカボス)

- ▶ 同システムには当行キャリア開発プログラム (CDP) に対応した「キャリア形成支援機能」を搭載。現有人財の把握・分析や戦略的な人財育成・配置をサポート。
- ▶ 行員のキャリア自律を支援する取り組みとして2021年4月より1on1ミーティングを開始。

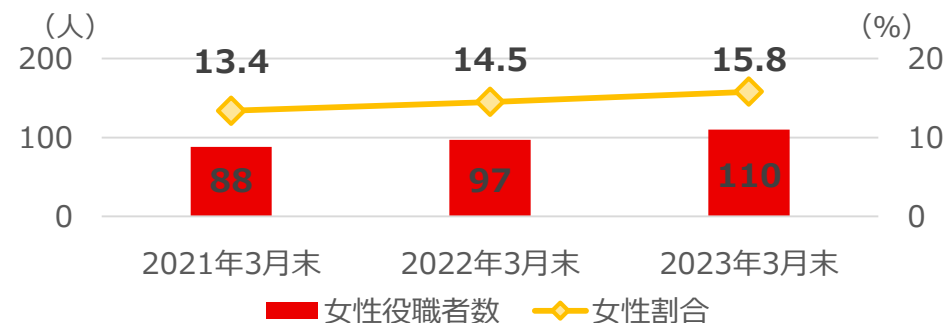
● 企業内大学 (D-Careerアカデミー) の創設

- ▶ 2022年6月、「行員のキャリア形成支援」と「多様な専門能力の開発支援」を実現する育成体系を構築するために設立。



女性の登用について

● 女性役職者推移 (女性支店長代理級以上)



● 行動計画

- ▶ 「管理職」に占める女性の割合について 10%を目標とする。「支店長代理級以上」の管理・監督職に占める女性の割合について40%を目標とする。

● 外部評価



2019年に大分県内2社目、
県内金融機関初取得



2019年より
5年連続取得



2023年に
初取得

長期ビジョンの実現に向けたDX（デジタルトランスフォーメーション）への対応

DX認定事業者の認定取得



2022年1月に
DX認定事業者の認定を取得

新たな情報技術を活用し、将来に向けた預貸ビジネスからのビジネスモデル変革や、地域に新たな価値や市場を創出します。

IT／DX人財育成

● IT人財の育成

- ▶ 企業内大学に“ITリテラシー向上プログラム”を新設
当行行員として必要なITの基礎知識・スキルの習得を行い、業務効率化につなげることを目的に開講しました。
- ▶ 「ITエキスパート」をキャリア開発プログラム(CDP)に設定
IT戦略策定・案件組成・プロジェクト管理等が行える、当行のIT専門人財像を定義しました。

● DX人財の育成

- ▶ アイデアソンの開催
行員のアイデアを起点に、事業化プロセスの体感や新しい思考法の体験を通じ、デジタルを活用した新規事業の創出マインドの醸成を図る取組みとして実施しました。
- ▶ デジタル人財像の検討
長期ビジョンの実現に向けたDXへの対応に必要な人財像を検討しています。

取組内容

「よりデジタル化された未来の姿」を踏まえながら、長期ビジョンの実現に向けて、コスト構造改革や新たなビジネスの創出に向けたDXの取組みを行っています。

● コスト構造改革

- ▶ AIチャットボットを導入
行員の生産性を高めるため、AIを活用した自動回答サービス「AIチャットボット」を導入しました。
- ▶ 業務用スマートフォンを全役職員に貸与
電話の取次ぎレスによるお客さまへの迅速な対応や行内コミュニケーションの活性化を図ることを目的に全役職員に貸与しました。

● 新たなビジネスの創出

- ▶ 大分市プレミアム付商品券事業
当行の新たな収益事業への取組みとして、当行と(株)オーイーシーが連携したデジタル商品券発行事業を開始。大分市プレミアム付商品券事業に採用され、コロナ禍において非接触決済環境を提供しました。
- ▶ “ビジカム”でICT・DXへの対応をサポート
コワーキングスペース“ビジカム”に当行と(株)オーイーシーが常駐し、ICT・DXへの対応を支援することにより、地域の課題解決・持続的な成長を目指しています。

感動を、シェアしたい。

夢を共に分かち合う。厳しさを共に実感する。長い時間を共に過ごし、考え抜き、とことん話し合う。

それも、ひとりの行員とお客さまという関係を超え、何としてもお役に立ちたいという、執念に近い情熱。

アイデアにあふれ、期待に応える提案。また、ひとりの人間としての信頼。そこで、はじめて、強い絆が生まれる。

やりきること。挑戦すること。諦めないこと。

そして、地域の皆さまやお客さまと、その発展・成功を共に喜び、「大分銀行で良かった」と感動して頂くこと。

それが私たちの、感動です。



感動を、シェアしたい。

大分銀行

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化等により変動する可能性があることにご留意ください。

© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.